

WORKSHOP

まちと文化とアートの学校 (全5回)

ゲスト自身の人柄にスポットをあて、テーマからの脱線を
楽しみながらおしゃべりをしていきます。

1. 〈芸術といろいろの狭間でわたしが考えること〉

文化芸術、ワークショップ、教育、福祉などいろいろな問題意識を抱えながら、制度や決まりごとの間で悩む大学教員のお話。

ゲスト | 吉野さつき (アーツ・マネージャー)
日 時 | 10月1日(金) 19時～21時

2. 〈聞き上手・とらおさんの円卓文化相談〉

アートマネジメント界の瀬戸内寂聴・とらおさんが皆の「文化」の悩み事と向き合い、皆で悩んでみるトークラウンジ。

ゲスト | 大澤寅雄 (文化生態観察)
日 時 | 10月27日(水) 19時～21時

3. 〈ヴィヴィさんの爺爺砲弾〉

「LGBTQ」「ジェンダー」「外国人」「障害者」「マイノリティ」…いま考えるべきトピックに切り込むヴィヴィ流時事放談。

ゲスト | ヴィヴィアン佐藤 (美術家、文筆家)
日 時 | 12月10日(金) 19時～21時
会 場 | 坂の上の雲ミュージアム 会議室 定員 | 20名
(松山市一番町3丁目20番地)

4. 〈障害と身体をめぐる旅について話を聞く〉

障害を持つひとたちと共に表現を紡ぎだす現場のお話、真実さんの働き方についてゆるりと対話。

ゲスト | 田中真実 (STスポット横浜)
日 時 | 1月29日(土) 14時～16時

5. クロストーク〈松山ブンカ・ラボ レポート2021〉

ブンカラボの1年を振り返りアートと社会の未来を構想します。

進行 | 戸舘正史 (松山ブンカ・ラボ)
日 時 | 2月19日(土) 14時～17時

1.2.4.5. 会 場 | シアターねこ (松山市緑町1-2-1)

定員 | 30名

※ 3.のみ会場が異なります。ご注意ください。

松山ブンカ・ラボとは

松山市は2018年3月に「松山市文化芸術振興計画」を策定しました。この計画を実現するためのプログラムを企画・実施していく事業が愛媛大学社会共創学部／松山アートまちづくり寄附講座、すなわち松山ブンカ・ラボです。公・民・学の協働による松山市文化創造支援協議会(愛媛大学、NPO法人シアターネットワークえひめ、NPO法人クオリティアンドコミュニケーションオブアーツ、松山市文化協会、松山市)が愛媛大学社会共創学部に資金を寄附することによって設置されました。

申込み メールまたは参加フォーム(QRコード)よりお申込みください。

※ 名前、住所、電話番号、年齢を明記

メールアドレス | bunkamatsuyama@gmail.com



お問い合わせ | 松山ブンカ・ラボ 080-9833-9869

○新型コロナウイルス対策に関して

新型コロナウイルスの感染状況によってはプログラムをオンラインで実施する可能性があります。実施方法や会期、時間の変更等が生じる場合には松山ブンカ・ラボのホームページ「INFORMATION」にてお知らせいたします。

会 う

耳 を 傾 ける

対 話 す る

考 え る

表 現 す る



まちと文化とアートの学校



しらんことだらけ博物館



しらんことだらけ博物館



こどもの表現を考えるラボ



シンポジウム

PROFILE

吉野さつき

アーツ・マネージャー、
愛知大学文学部メディア
芸術専攻教授



吉野さつき

英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学び、公共劇場勤務、英国で研修(文化庁派遣芸術家在外研修員)後、教育、福祉等の場で芸術を用いた活動に携わる。2017年度から2019年度まで厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業評価委員。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」メンバー。

大澤寅雄

ニッセイ基礎研究所
芸術文化プロジェクト室／
文化生態観察



(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事長。共著『これからのアートマネジメント“ソーシャル・シェア”への道』『文化からの復興 市民と震災といわきアリオス』『文化政策の現在と文化政策の展望』『ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく』。

ヴィヴィアン佐藤

美術家、文筆家、
非建築家、ドラッグクイーン、
プロモーター



ジャンルを横断して独自の見解で分析。作品制作発表だけではなく、「同時代性」をキーワードに映画や演劇、都市など独自の芸術論で批評展開。また様々な地方町興しコンサルタント、尾道観光大使など。サンミュージック提携タレント。大正大学客員教授。

田中真実

認定NPO法人STスポット
横浜 副理事長・事務局長



1984年東京生まれ。大学で地理学、大学院で都市計画を専攻し、コミュニティや地域文化に興味を持つ。2008年STスポット横浜入職。文化施設や芸術団体と学校現場の連携プロジェクトを担当。2020年4月より、神奈川県が主催する芸術文化活動支援センターの運営を開始。芸術文化分野での中間支援のあり方について、模索している。

戸舘正史

愛媛大学社会共創学部
助教、松山ブンカ・ラボ
ディレクター



静岡県袋井市月見の里学遊館企画担当、アーツカウンシル東京・調査員、群馬県前橋市アーツ前橋・教育普及担当芸員、(一財)地域創造・芸術環境専門員を経て、2018年より現職。共著に『芸術と環境』(論創社、2012)。

伊藤裕夫

文化政策研究者



静岡文化芸術大学教授、富山大学芸術文化学部教授を経て、現在はフリーの研究者。静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科等の兼任講師の他、日本文化政策学会会長を務めた。現在は同学会理事、(公財)舞台芸術財団演劇人会議評議員。

有門正太郎

俳優、演出家



倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、「有門正太郎プレゼンツ」を始動。北九州芸術劇場「日韓 合同キャンプ〜チャレンジ! えんげき〜」総合演出、かすがい市民文化財「演劇×自分史」作・演出も務める。佐藤佐吉賞優秀主演男優賞受賞(2016)。

阿比留ひろみ

アートコーディネーター



大学卒業後、一般企業勤務を経て静岡県袋井市月見の里学遊館企画スタッフを務め、ワークショップや講座などを担当。その後、大学勤務の傍らNPOにて子供向けワークショップ等を企画制作。一般財団法人地域創造・芸術環境部を経て、(一社)あひるタイガ社を設立。代表理事。

土 谷 享

美術家



2001年より土谷享と車田智志乃の美術家ユニットKOSUGE1-16として活動を開始。現在はこれまでの活動コンセプトを引継ぎ、土谷が代表として活動している。主な受賞歴「第11回岡本太郎現代芸術賞展」岡本太郎賞。主なアートプロジェクト2016～19年「PLAYMAKERS SENDAI」せんだいメディアテーク art node project、2018年「MQCHI SCRAMBLE」高知県立美術館 等。

森川好美

NPO法人MORILAB 代表、
デザイナー、エンジニア



「デジタル技術による地域資源の活用と循環」をテーマとし、高知県佐川町を拠点に、全国でデジタルファブリケーションやシステム開発、アート制作などあらゆる領域で活動する。自らのづくりをするだけでなく、ものづくりによって人やモノ、コトの関係性を変えていく仕組みを社会実装することを目指している。

今 井 朋

アーツ前橋・学芸員



エコール・ド・ルーヴル(パリ)第一、第二課程修了、第三課程在籍。『極東のティスト』展(フランス・ナンシー市立美術館、2011)の企画、監修により第33回ジャポニスム学会賞受賞。2013年より現職。主な担当企画展に「表現の森 協働としてのアート」(2016)、「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」(アーツ前橋・前橋文学館共同企画、2017)など。

深澤孝史

美術家



誰かの大切なものを勝手に大切にする方法を考える。2008年に鈴木一郎太とともにNPO法人クリエイティブサポートレッツにて「たけし文化センター」を企画。自身のとくいなことを運用し公を模索する《とくいの銀行》(2011)、取手アートプロジェクトほか)、里山に民泊し、土地特有の近代化の資料を集めていく《越後妻有民俗泊物館》(2015、第6回大地の芸術祭)などを企画、制作。

上田假奈代

NPO法人こえとことばと
こころの部屋、詩人



2003年大阪・新世界で喫茶店のふりをした拠点アートNPO「ココルーム」をたちあげ、2008年西成・釜ヶ崎に移転。まちを大学にみたてた「釜ヶ崎芸術大学」(2012)、「ゲストハウスとカフェと庭ココルーム」開設(2016)。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞(2014)。

高山力造

演出家、俳優



広島市出身、44歳。九州大学演劇部で演劇を始め、福岡/北九州で演劇/ダンス作品に数多く関わる。演劇WSファシリテーターとしても活動。2017年、愛媛県東温市に移住。演劇を楽しむ/考える場づくりに軸足を置く「SCHOP PROJECT」を始動。地域の俳優と共同で戯曲上演に積極的に取組む。

らぼころぼ -----

土山あやか

子ども造形アトリエnekkō



2009年より子ども造形教室の講師。友人と作ることを楽しむユニット「ne++ko」を組み、子ども向けのワークショップを開催する。現在は自宅で「子ども造形アトリエnekkō」を開き、子ども達と一緒に活動している。

yummydance

ダンスカンパニー



1999年、愛媛県松山市にて行われたアマンダ・ミラーのダンスウエーブ・プロジェクトに選出されたメンバーによって設立。メンバーそれぞれが振付・構成・演出を行う自由な創作スタイルで、自主公演や国内外のダンスフェスティバルでの上演や、全国の学校や福祉施設、公共ホールなどでワークショップを実施している。

いよげんのじょう

伊予源之丞保存会

人形浄瑠璃



明治の初め、三津新町の宝来屋新蔵が立ち上げた宝来座がこの座の起源である。その後、1959年に「伊予源之丞保存会」を結成。古典芸能に対する理解と認識を深めるとともに、その保存伝承を図るために、地域の三津恵美須神社夏祭りや秋の文化祭で披露したり、毎年県内の文楽座と合同で公演して伝承者等の育成を行っている。

スコープ プロジェクト

SCHOP PROJECT

舞台芸術プロジェクト



2019年4月に始動。愛媛県中予地域を拠点に《演劇》遊ぶ/楽しむ/考えるための場づくりに軸足を置いた舞台芸術プロジェクト。これまで「演技について一緒に考えてみるWS」「演劇をもっと楽しむための戯曲リーディングWS」等のワークショップを多数開催。代表：高山力造

めぐりて

文化・芸術の
観客の集い



“観客”を地域の文化・芸術を巡り繋いでいく“担い手”と捉えて、観客目線で文化・芸術に携わることを目指し、愛媛県松山市を拠点として活動。現在は、月一ペースで演劇や舞台の話をする場“観劇お茶会”を開催している。

松山 ブンカ・ラボ

2021年度 プログラム

松山ブンカ・ラボのプログラムは

どなたでも参加できます。

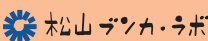
申込みをするにあたって不明なことがある方や、

障害をお持ちで不安や心配ごとのある方など、

いつでもご相談ください。

主催 | 松山ブンカ・ラボ、松山市、松山市文化創造支援協議会

後援 | 松山アーバンデザインセンター



WORKSHOP

シリーズ これまでとこれからの 松山の文化を考えよう



1. 文化をつくるワークショップ(全5回) ～松山市文化芸術振興計画ってなに？

松山市が2018年に策定した「松山市文化芸術振興計画」。この計画は市民の手によって文化が育まれていくための指針です。計画について考え、行政の主導ではなく、自分たちで、この街に相応しい「文化芸術」と「振興」について議論したい人、自らの文化活動を社会とつなげていきたい人、共に文化の未来を構想しましょう。

ファシリテーター | 戸舘正史(松山ブンカ・ラボ)

日時 | 9月17日(金)、10月15日(金)、11月19日(金)、
12月17日(金)、1月28日(金) 19時～21時

2. 文化芸術振興入門(全2回)

文化芸術の法的根拠や制度設計について学びたい方のための入門講座です。自治体、財団の職員の方々にお勧めです。

講師 | 伊藤裕夫(文化政策研究者)

日時 | 11月20日(土)、12月18日(土) 15時～17時

1.2. 会場 | 坂の上の雲ミュージアム 会議室 定員 | 20名

ART PROJECT/WORKSHOP

市民参加型アートプロジェクト 「しらんことだらけ 博物館」



2019年から始まった〈松山リサーチプロジェクト〉では市民や学生と共に「しらんこと」を調査しながら小さな実験を積み上げてきました。博物館＝ミュージアムとは多様な価値観と出会い、対話を重ねることのできる自由で創造的な場です。今年度はWEB上に「ミュージアム」を作っていきます。

ファシリテーター | 土谷享(美術家)

WEBアプリ開発、デザイン | 森川好美

(デザイナー、エンジニア)

※詳細決定次第WEB等で発表します。



SYMPOSIUM

シンポジウム「ミュージアム／対話の場を考える」

知らないことに会うことは知らないあなたに出会うこと。はじめは不安かもしれないけど、対話を重ねていくうちに、互いの違いは違いのまま、不安はどこかいてしまうかもしれません。実はミュージアムとはそんな新しい価値や考え方との出会いの場。これからのミュージアムの新しい形をアーティストや学芸員と共に考えていきます。

ファシリテーター | 土谷享(美術家)、今井朋(アーツ前橋)ほか

日時 | 3月6日(日) 14時～17時

会場 | 坂の上の雲ミュージアム ホール 定員 | 50名

WORKSHOP

文化サポートプログラム らぼこらぼ

松山ブンカ・ラボとの共催事業として実施する文化事業企画です。多様な市民との関係や対話がうまれる「公共性」のある企画を目指します。

小さな美術教室を行き来する 廊下のようなオンラインネットワーク

全国各地の美術教室をオンラインで繋ぎ、それぞれの考え方や特徴、悩み、課題などを共有し、新たなネットワークをつくるプログラムです。

企画 | 土山あやか(子ども造形アトリエnekkō)

ファシリテーター | 深澤孝史(美術家)

日時 | 4月～11月 ※詳細決定次第WEB等で発表します。

参加 | オンライン 対象 | 美術教室、美術教育等に興味がある方



美術教室・寄り道オンライン
「創造アトリエ あぶりこつと」

ヤミーダンスの『おっと！その動きいただきます。』

日常の中にある動きを市民から募集し、

ヤミーダンスが新たなダンス作品を創作しオンラインで発表します。

ヤミーダンス

企画 | yummydance(ダンスカンパニー)

映像募集中 べ切 7月15日(木) ※詳細はWEBをご覧ください。
今年度中に映像作品をオンライン上で発表



左から、宇都宮忍、合田緑、得居幸、高橋砂織

子どもワークショップ「伊予源之丞 人形浄瑠璃であそぼう」

明治時代から続く人形浄瑠璃、伊予源之丞。

自分たちで作った小さな物語を人形を遣って演じてみます。

いよげんのじょう
企画 | 伊予源之丞保存会(人形浄瑠璃)

ファシリテーター | 有門正太郎(俳優、演出家)

日時 | 9月12日(日) 10時30分～15時 お昼休憩あり

会場 | 和光会館(松山市緑町1-2-1)

対象 | 小学3～6年生 定員 | 15名



宮前公民館での稽古風景

演劇をもっと楽しむための

戯曲リーディングワークショップ(全8回)

古典戯曲の中にある社会的背景や歴史を紐解きながら、演劇との関わり方を深めていきます。

スコープ プロジェクト

企画 | SCHOP PROJECT(舞台芸術プロジェクト)

ファシリテーター | 高山力造(演出家、俳優)

日時 | 10月5日(火)、10月12日(火)、10月19日(火)、
10月26日(火)、11月2日(火)、11月9日(火) 19時～22時
11月13日(土) 13時～19時、11月14日(日) 10時～18時

会場 | 松山アーバンデザインセンター もぶるラウンジ(松山市花園町4-9 岡田ビル1階)、シアターねこ

対象 | 高校生以上、演技経験不問 定員 | 10名程度／全8回(通し参加できる方優先)



SCHOP PROJECT presents vol.2
「赤鬼」稽古

愛媛・演劇のチラシ展 -21世紀の演劇・舞台の動き 中予編

演劇公演のチラシを起点にして、愛媛の舞台芸術の歴史や、関係者の記憶や言葉から着想したアーカイブ展示を開催します。

企画 | めぐりて(文化・芸術の観客の集い)

日時 | 12月15日(水)～12月26日(日)

会場 | 平和通りアートセンター PAAC
(松山市平和通1-1-2 物語カフェかまどねこ2階)



20年分の演劇公演のチラシを一堂に展示

EXHIBITION/WORKSHOP

ことばのちから2021 題名のいっぱいある展覧会

同時展示

〈だから、ことば大募集アーカイブ展〉

アーティストの瀬尾夏美、写真家の鈴木育郎による無題の作品に集まったユニークな題名を展示します。関連プログラムではことばを通じた交流と対話の場を生み出します。

参加アーティスト | 上田假奈代(詩人)
瀬尾夏美(アーティスト)
鈴木育郎(写真家)

日時 | 7月3日(土)～8月1日(日)

平日 11時～15時、

土日祝 13時～18時、会期中無休

会場 | 平和通りアートセンター PAAC
(松山市平和通1-1-2 物語カフェかまどねこ2階)

主催 | 松山市、ことばのちから実行委員会

●関連プログラム

1. 「対話型観賞のあたらしいかたち 名づけのワークショップ」

日時 | 7月3日(土) 14時～16時

2. 「みんなの人生相談といっしょに」

日時 | 7月4日(日) 14時～16時

1.2. 進行 | 上田假奈代(詩人)

3. 釜ヶ崎芸術大学 みんなで話そう 野良釜芸 「ダンボール山車ハウスづくり(部活)」

日時 | 7月3日(土) 13時～18時

7月4日(日) 13時～16時

4. オンラインアーティストーク

日時 | 7月18日(日) 15時～16時30分



瀬尾夏美



鈴木育郎

WORKSHOP

松山アーティストミーティング

ダンス、演劇、美術、音楽、文学などジャンルを超えて、アーティストやアーティストを支える立場の人たちが一堂に集い、問題意識や課題を共有します。

日時 | 2月16日(水) 19時～21時

会場 | シアターねこ

WORKSHOP

こどもの表現を考えるラボ オンライン(全6回)

2019年度に開催して好評を得たワークショップが一年ぶりに復活です。子どもの表現や営みと出会うことでオトナも変わることが出来るかもしれません。オンライン上で対話を重ねていくことによって得られた知恵や技術が、参加者それぞれの生活の場にフィードバックされていくことを目指します。

ファシリテーター | 有門正太郎(俳優、演出家)
コーディネーター | 阿比留ひろみ
(アートコーディネーター)

日時 | 10月20日(水)、11月10日(水)、
12月15日(水)、1月12日(水)、
2月9日(水)、3月9日(水)
19時30分～21時30分

参加 | オンライン

対象 | 子どもの表現活動に興味のある方

定員 | 15名



WORKSHOP

学生プログラム

大学生を対象としたプログラムです。愛媛大学だけでなく、他大学、専門学校の学生も参加できます。

1. 学生のための文化おもしろゼミナール (定期的随時開催)

「文化」について多角的な視点を持つための学びの場です。観光やまちづくり等の手段としての「文化」だけではなくその特有の価値について知見を広げていきます。

ファシリテーター | 戸舘正史(松山ブンカ・ラボ)

2. 学生のためのコミュニケーション ワークショップ(全2回)

さまざまな場面で活かすことのできるコミュニケーションスキルを学ぶためのワークショップです。表現することによって他者理解を深めていくことを目指します。

ファシリテーター | 高山力造(演出家、俳優)

日時・会場 |
※詳細決定次第
WEB等で発表
します。

